愛知県西尾市

岡山南遺跡現地説明会資料

おかやま　みなみ　いせき　げんちせつめいかいしりょう

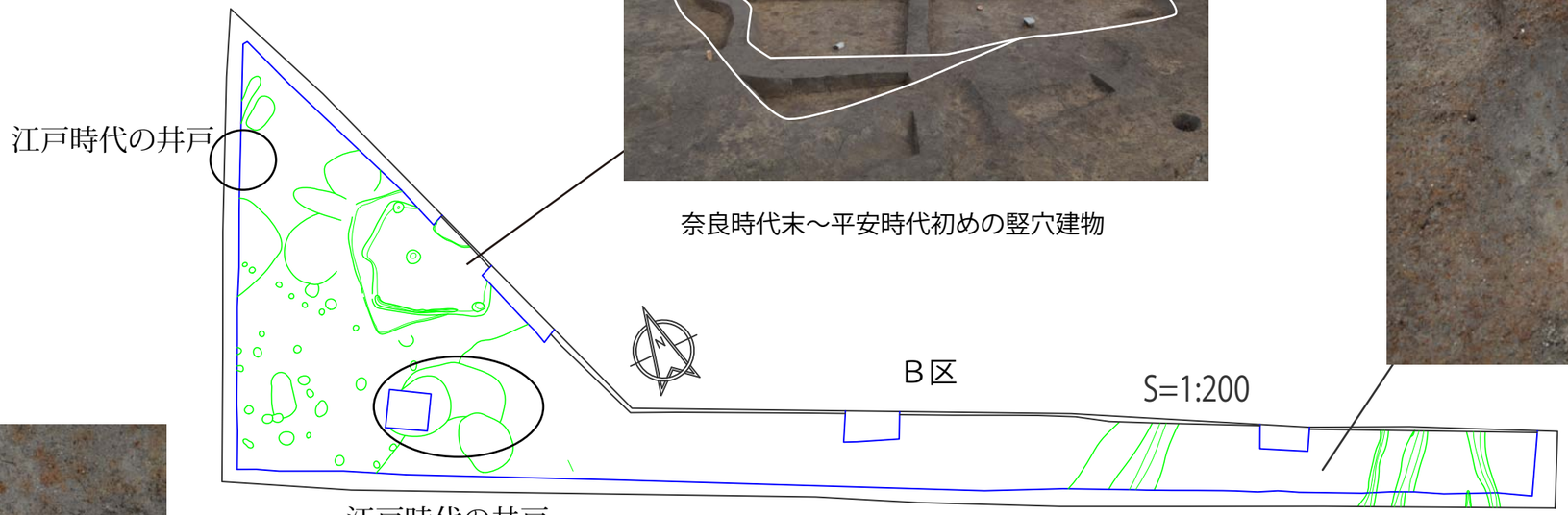
平成23年1月28日

調査主体　（公益）愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
調査支援　（株）アート

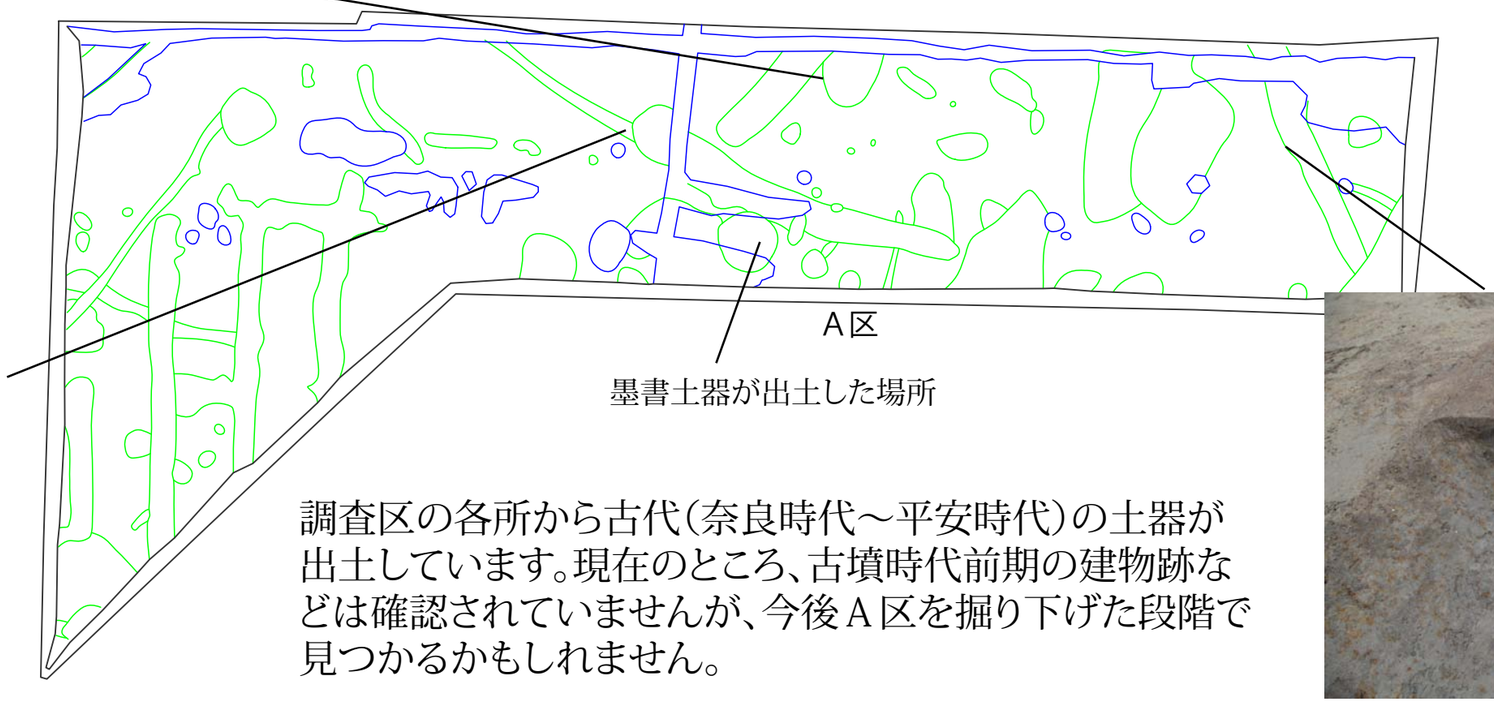
今回の調査では、水路を挟んでＡ区とＢ区に分けて調査をしています。
Ｂ区では、３つの遺構面が検出されました。第１遺構面は主に江戸時代、第２遺構面は奈良～平安時代、第３遺構面は古墳時代です。
説明会でみられるのは、Ｂ区は第３面目（江戸時代の井戸、奈良～平安時代の竪穴建物もみられます）です。
Ａ区は第１面目です。調査区の東側は微高地でやや高いため、Ａ区ではすでに古墳時代の遺構もでています。

奈良時代末～平安時代初めの竪穴建物

古墳時代の土器



奈良時代の土器



奈良時代の土器

調査区の各所から古代（奈良時代～平安時代）の土器が出土しています。現在のところ、古墳時代前期の建物跡などは確認されていませんが、今後Ａ区を掘り下げた段階で見つかるかもしれません。

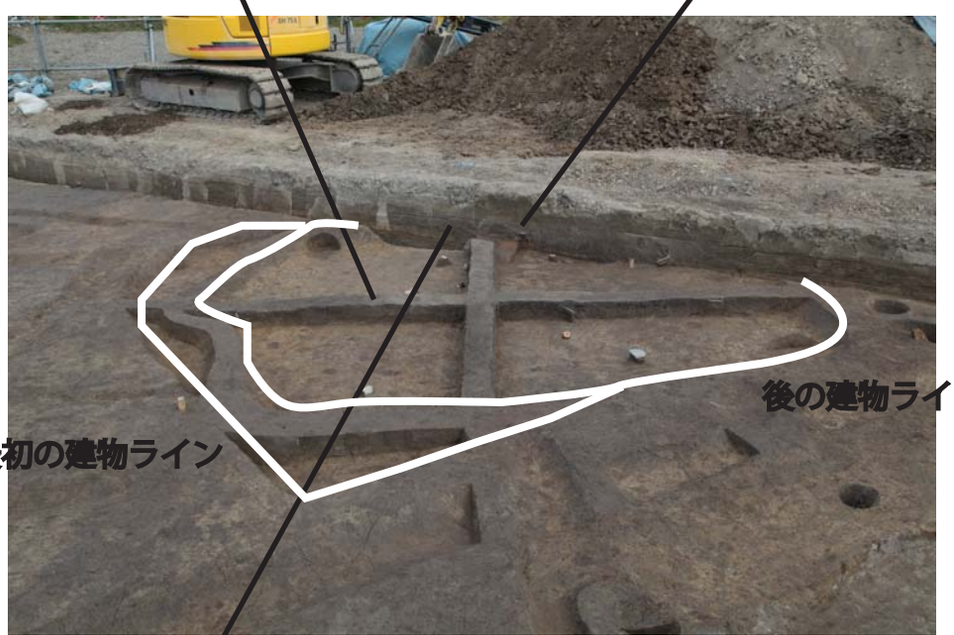
右の写真は、B区第２遺構面を検出した時、西側から撮影したものです。写真を丸で囲んだ辺りが、少し白くなっているのがおわかりでしょうか？
これは、昔の川の跡です。
川の跡からは、古墳時代や奈良時代の土器も出土しましたが、江戸時代のものも出土しているので、江戸時代まで存在していたことがわかりました。

左の写真は、A区を西側から撮影したものです。写真の中央から右側にかけて所々、白い砂が入っています。
この遺構面は、川が埋まった後の状況を示しています。

この地域一帯は、岡山の北側を流れる須美川や南北に流れる矢作古川などの河川が合流する地域で度々、洪水に見舞われました。忠臣蔵で有名な吉良上野介義央は、東の寄名山と背撫山に挟まれた谷の北側に、洪水から吉良の地を守るため、「黄金堤」を造りました。
今回の調査でみつかった川が埋まったのは、「黄金堤」が造られた後であると考えられます。
　川が埋まったの後の遺構の数々は、上野介がおこなった国経営の成果とも言えるでしょう。

奈良時代〜平安時代の須恵器

カマドの跡



カマド近くでみつかった須恵器

竪穴建物を掘っていくとたくさんの遺物が出土しました。これらは、奈良時代の終わりころから平安時代の初めにかけての土器で、この竪穴建物の年代を示しています。
中央の写真左側に、もう一棟ありますが、中央の建物に壊されています。
出土した土器の年代は、それほど差がないため短期間に造り直したのでしょうか。
この建物は、調査区の北側に続きます。
奈良時代〜平安時代の集落が、調査区の北側にあったことを想像させてくれます。

1 中根山遺跡
2 砦山遺跡
3 岡山南遺跡
4 矢作古川河床Ｂ遺跡
5 矢作古川河床Ａ遺跡
6 石流遺跡
7 大岩山遺跡
8 八幡山遺跡
9 山崎遺跡
10 正法寺古墳
11 若宮１号墳
12 八幡山古墳
13 善光寺沢遺跡
14 善光寺沢南遺跡
15 山王山南遺跡
16 献上田廃寺
17 背撫山遺跡
18 東条城跡
19 寄名山遺跡

年代	時代	日本列島の主な出来事	岡山南遺跡周辺の遺跡
35000年前	後期旧石器時代	ナイフ形石器の出現	
25000年前		鹿児島県姶良カルデラの噴火	
13000年前	縄文時代	土器・弓矢の使用	
2500年前	弥生時代	稲作の開始 環濠集落の出現	善光寺沢遺跡 中根山遺跡
A.D.0年			
300年	古墳時代	女王卑弥呼、中国魏に使者を送る	八幡山古墳 正法寺古墳
600年		仏教の伝来	
	飛鳥時代	645年大化の改新	
700年	奈良時代	平城京遷都	寄名山遺跡
800年	平安時代	794年平安京遷都	
		藤原氏による摂関政治 院政	
1100年		武士の台頭	
1200年	鎌倉時代	鎌倉幕府成立 南北朝の動乱	
1300年	室町時代	室町幕府成立 1467年応仁の乱	東条城跡
1500年	安土桃山時代	1576年織田信長安土城築城 1590年豊臣秀吉天下統一 関ヶ原の戦い	
1600年	江戸時代	江戸幕府成立	
1700年		赤穂事件	黄金堤
1800年		1867年大政奉還	
1900年		1945年太平洋戦争終結	

今回の調査で出土した土器の時期